

**第4次岬町地域福祉計画・地域福祉活動計画
地域懇談会・子ども懇談会
実施報告書**

岬町・岬町社会福祉協議会

令和5年 10 月

目次

1. 懇談会実施について	1
2. 地域懇談会	1
3. 子ども懇談会	13
4. 懇談会まとめ	18

1. 懇談会実施について

岬町では、第4次岬町地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に向けて、令和4年12月1日～12月23日にかけて、岬町在住の18歳以上の方を対象に、地域福祉に関わるお考えやご意見をいただきました。

アンケートの結果を踏まえ、さらに地域の生活課題や福祉課題について、住民の皆様の目線から掘り起こし、共に考え、解決方法を考えることで、行政・社協・地域住民が一体となって岬町の「地域福祉」をさらに推進できるよう懇談会を実施しました。

2. 地域懇談会

【開催テーマ】

	開催テーマ
第1回地域懇談会	もしかして困りごとや不安を、お持ちではないですか？
第2回地域懇談会	私たちの地域に足りないこと、それ解決できないだろうか

【開催日時等】

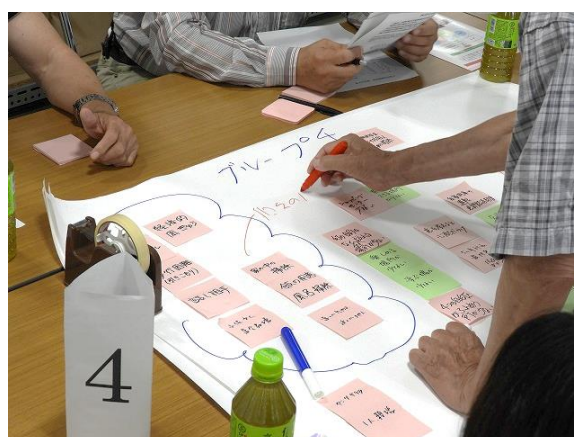
	開催日時		参加人数	会場
第1回地域懇談会	7月8日(土)	10:00～12:00	18名	岬町社会福祉協議会
第2回地域懇談会	7月22日(土)	10:00～12:00	19名	協議会

【対象者】

○町内在住18歳以上の住民

【参加者の募集方法】

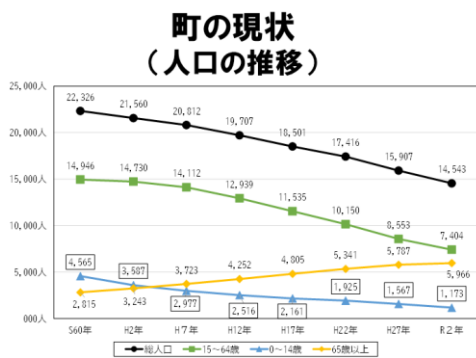
○チラシによる募集



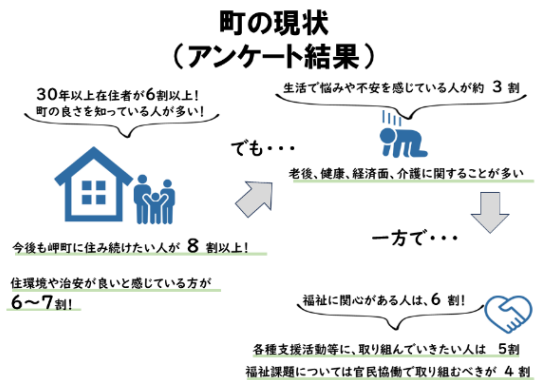
【第1回地域懇談会内容】

岬町の現状を簡単に把握したのち、ペルソナカード（仮想の人物像のカード）の方が、何に困っているかをイメージし、さらにその方に対して、自分たち（地域含）でできること、行政とともにできることについて、グループワークを通して、考えていただきました。

1. 町の状況を把握
2. 様々な人(達)の困りごとや不安をイメージする
3. その人(達)の困りごとなどを解決するために必要なこと、今からやるべきこと、できることを考える



35年間で約7,500人減少！ (国勢調査)
 高齢者は子どもの約5倍！



グループ1

①

○ 深日在住 男性 年齢 85歳
 ○ 妻 (90歳) と2人暮らし (在住50年以上)
 ○ 妻が軽度の認知症を患って10年
 ○ 自身も外出時は杖が必要な状態

②

○ 淡輪在住 女性 年齢 30歳
 ○ 娘 (7歳) と2人暮らし (在住3年)
 ○ コロナ禍で職を失い、今はパートタイムで収入が減少
 ○ 貯金を切り崩しながら生活し、困窮している

地域懇談会ペルソナカード

困りごと	自分たちでも	行政とともに
●●に困っている	●●ができる	●●ができる
●●を何とかしたい	●●ができる	●●ができる
●●に困っている	●●ができる	●●ができる
●●を何とかしたい	●●ができる	●●ができる

第1回地域懇談会まとめ例

【第1回地域懇談会各グループからの発表内容】



グループ1のペルソナカード



- 深日在住 男性 年齢85歳
- 妻（90歳）と2人暮らし（在住50年以上）
- 妻が軽度の認知症を患って10年
- 自身も外出時は杖が必要な状態



- 淡輪在住 女性 年齢30歳
- 娘（7歳）と2人暮らし（在住3年）
- コロナ禍で職を失い、今はパートタイムで収入が減少
- 貯金を切り崩しながら生活し、困窮している

	ペルソナカード	困りごと 不安なこと	自分たちが できること	行政とともに できること
1グループ		<ul style="list-style-type: none"> ・家事買い物 ・災害時の避難 ・移動手段 ・自治区内でのお付き合い 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃からお声がけ ・災害時の連絡先を明確化 ・地域団体に買い物支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の声を聞くようにする ・避難時の状況確認方法等 ・グループ活動の中で、行政の交わりを求める
		<ul style="list-style-type: none"> ・生活費について ・困ったときに相談先の把握 ・子どもの預け先 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの同級生等の親しい家族とお付き合い ・困っていたら行政へ伝える役割 ・日頃から声掛けをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と行政が連携



グループ2のペルソナカード



- 孝子在住 男性 年齢 85 歳
- 一人暮らし（在住 30 年以上）妻とは 5 年前に死別
- 体は元気だが、掃除や料理等の家事が得意ではない
- 話相手がないことが悩み



- 深日在住 男性 年齢 30 歳
- 町内で一人暮らし（在住は 1 年未満）
- 盲導犬は利用せず、白杖で外出している
- 仕事場までは電車を利用している

	ペルソナカード	困りごと 不安なこと	自分たちが できること	行政とともに できること
2 グループ		<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ出しができない ・災害時どうしたらいいのか ・話し相手がないので不安、さみしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の人探し（つながらる） ・災害時のため、緊急連絡先を教えてください ・地区福祉イベントへ出席してもらおう 	意見なし
		<ul style="list-style-type: none"> ・道路での駐車 ・病気になったら困る ・近所付き合い ・食事はどうしているのか？ ・災害時の避難方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時のため、緊急連絡先を教えてください ・毎日の生活で近所の人とつながる 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事が作れない場合の支援 ・近所づきあいの支援 ・電車利用の支援 ・駅までの道の確保（点字ブロック上の自転車や道路整備）

グループ3のペルソナカード



○ 深日在住 女性 年齢 75 歳

○ 夫（80 歳）息子（45 歳）と 3 人暮らし（在住 20 年）

○ 息子には知的障害がある


○ 近所とのつながりがほとんどない

○ 外国人 孝子在住 女性 年齢 9 歳

○ 両親ともに外国人で 3 人暮らし（在住 1 年未満）

○ 日本語はまだほとんど話せない

○ 遊べる友達が少ない



	ペルソナカード	困りごと 不安なこと	自分たちが できること	行政とともに できること
3 グ ル ー プ		<ul style="list-style-type: none"> 息子の就労や親なきあと問題 日常生活（ゴミ出し等）の問題 親の体力や健康（認知症）の不安 自治会との繋がりが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会に誘う 日常の声掛け 地域のイベントへの誘い 災害時の声掛け 悩みを共有 タウンミーティングに参加 	<ul style="list-style-type: none"> 息子の就労についての支援 支援の方法を伝える 防災研修体制づくり 住民の要望を受け止め充実した支援をする
		<ul style="list-style-type: none"> 日本の習慣や文化へ対応 子ども同士のコミュニケーション 宗教等への対応は十分か 町的生活ルール 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会や民生委員による声掛け 町のルール（ゴミ出し等）教える 地域のイベント等への参加 ふれあい喫茶で相談活動 タウンミーティングに参加 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語指導員の確保 教育委員会と協力 地域と学校での情報共有 防災研修体制づくり

グループ4のペルソナカード



- 淡輪在住 女性 年齢 80 歳
- 高齢者の夫と 2 人暮らし (在住 30 年以上)
- 子どもや孫は、町外で暮らしている
- 食材の買い物は、スーパーへ一人で出かける

- 多奈川在住 男性 年齢 15 歳
- 祖母+両親+兄弟の 3 世代同居 (在住 10 年)
- 町内の中学校に通っていて、両親は共働き
- 学校から帰ると祖母の介護と下の兄弟の世話をしている

	ペルソナカード	困りごと 不安なこと	自分たちが できること	行政とともに できること
4 グ ル ー プ		<ul style="list-style-type: none"> ・交通手段がないと病院買い物に行けなくなる ・緊急時の連絡手段 ・病気になった時の対応 ・各種手続きやお金の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの方へ声掛け ・夕方に散歩に誘って、不安等を聞く ・自分が買い物に行くとき、買い忘れの有無の声掛け 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報があるので情報が入ってきにくい ・乗り合いタクシー等交通手段の充実
		<ul style="list-style-type: none"> ・自分のやりたいことができない ・勉強時間がない ・兄弟の世話や介護を相談することが出来ない ・同世代の友達と楽しみを共有できない 	<ul style="list-style-type: none"> ・多奈川つどい「橋」などの地域の居場所を家族で利用する ・喫茶ポート ・声掛け 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校か地域にヤングケアラーの相談窓口 ・雑作業お助け隊 (有料・無料ボランティア) の利用

※共通の解決策

- ◇近所 (助け合える) 繋がりをつくる
- ◇近所に定期的に行ける場所をつくる
- ◇雑作業お助け隊 (有料、無料ボランティア) の利用

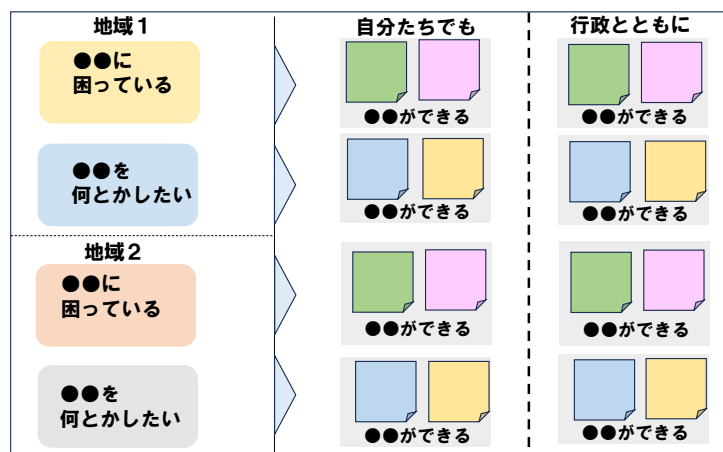
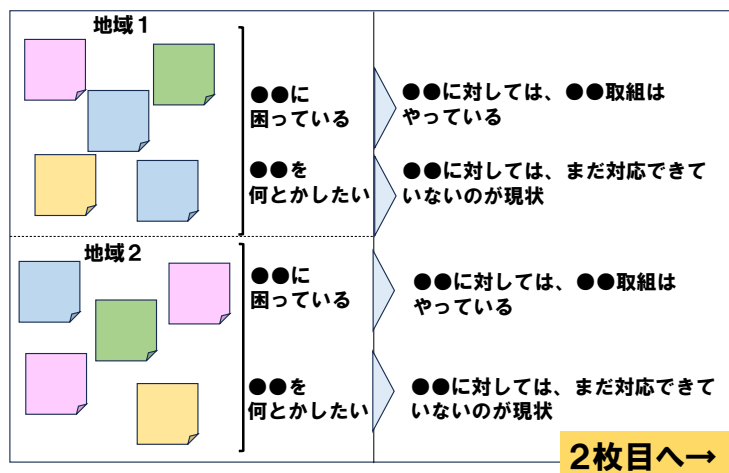
【第1回地域懇談会風景】



【第2回地域懇談会内容】

第1回地域懇談会の振り返りをしたのち、特定の人物像ではなく、お住まいや活動されている地域の困りごとなどを抽出。抽出された困りごとなどについて、既に行われている取組を把握・共有するとともに、自分たちや行政とできる解決策について、グループワークを通して、考えていただきました。

1. それぞれの視点で地域の困りごとや不安を共有する
2. 困りごと等の現状についてチームで共有する
3. 地域の困りごとなどを解決するために必要なこと、今からやるべきこと、できることを考える



【第2回地域懇談会各グループからの発表内容】

	大項目	地域の困りごと 不安なこと	活動内容	自分たちが できること	行政とともに できること
1グループ	移動	<ul style="list-style-type: none"> 坂の上は、買い物に行くのが大変 運転できない場合の移動手段 移動には車が必要 スーパーが近くにない 	<ul style="list-style-type: none"> 移動販売を一部活用している 買い物支援の活動を始めている オンデマンドバスの構想あり 	<ul style="list-style-type: none"> 自分も支援活動に参加する 歩いて買い物に行ける筋力体力を維持する 買い物支援の活動に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物支援活動のPRをする バス停に屋根・ベンチを設置する 町に途中で休める「ベンチ」などの設置 移動手段の確保
	地域活動	<ul style="list-style-type: none"> 空き家が多く用心する必要がある 地域行事に関心が少ない 近所づきあいが少ない 担い手不足 	<ul style="list-style-type: none"> 地区福祉活動 喫茶活動 地区福祉・民生委員活動で活性化促進 	<ul style="list-style-type: none"> 地区コミュニケーションの活性化（班の助け合い） コミュニケーションを図る 地域行事を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 住民プロフィールの共有・部分的公開
2グループ	居場所・見守り活動	<ul style="list-style-type: none"> 区長・民生委員等兼任している方が多い（担い手不足） 居場所づくりに参加者が少ない 見守りの数が少なくなった バスの便が少ない 免許証がない方の買い物 	<ul style="list-style-type: none"> 長生きするための健康づくり 手足の不自由な人のお手伝い 高齢者へのデジタル化推進 	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい喫茶 居場所づくり（コミュニティサロン） 体操（ワダイピクス） 買い物支援週1回 毎日見守り 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の方は坂移動対策 道路雑草が危険 バス停に椅子の設置 岬町の歩道が狭い 歩道のバリアフリー 町の放送が聞き取りにくい

	大項目	地域の困りごと 不安なこと	活動内容	自分たちが できること	行政とともに できること
3 グループ	高齢者等の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化 ・一人暮らしで不安 ・一人暮らしの方のご家族との連絡 ・老老介護が身近になり、生活が不安 ・高齢化により自治区の活動が縮小 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの活動 ・地域の声かけ・見守り ・サロンなどへのお誘い ・食事月2回配食 ・介護保険サービス 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物ボランティア情報通知 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの見直し ・バスの本数、バスの無料化 ・船の活用
	防災	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の避難が難しい ・避難手段の不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの配布 ・防災活動 ・介助必要者リストがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・町ぐるみ地域ぐるみで支え合い（訪設、ヘルパー、学校など） ・助け合いボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域町での避難訓練
	暮らし（子育て対策等）	<ul style="list-style-type: none"> ・町の収入不足に対し有効利用が必要 ・子どもの減少（町人口も減少） 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致を進めている ・結婚出産、補助金 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供会と自治会の交流 ・若い人が活躍できる場を作る（出会いの場）イベント 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学手当の支給 ・岬町で子育てしたいと思える教育環境の整備
	自治会問題	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の加入率低下 ・空き家が増加（防犯上不安） ・どこの場所でも階段が多い 	意見なし	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域の連携 ・地域のつながり強化 ・自治会活動の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動および役割見直し ・新みさき公園の早期立ち上げ
	生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ・南海電鉄の乗車運賃が高い ・下水の整備 ・外国人とコミュニケーションがとれない 	意見なし	意見なし	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人研修センターと地域の情報共有 ・下水整備 100%

	大項目	地域の困りごと 不安なこと	活動内容	自分たちが できること	行政とともに できること
	個々の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の一人暮らし ・歩行困難（引きこもり） ・話相手 ・少子高齢化 ・経済的困窮 ・手続きの仕方 ・家事（掃除、食事、風呂掃除） 	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回の喫茶及び買い物支援 ・散歩がてら見守り ・ふれあい給食サービスや民間配食サービスの利用 ・シルバー人材センターの利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人の参入 ・やる気にさせる働きかけ ・現役の人の活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売の増便 ・スーパーの配達送迎
4グループ	場所の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物できる場所が少ない ・楽しめる場所が少ない ・学ぶ場が少ない ・運転免許証返却後交通が不便 ・働く場が少ない ・活動拠点までの距離が遠い 	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきサロンや喫茶、つどい橋や公民館、喫茶ポールの利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家の活用 ・自然の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を核とした公民館の建設 ・一日のんびり過ごせる場所 ・魅力あるまちづくり
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・技能実習生などの外国人との関係 ・洪水で床下浸水を2回経験 ・災害時の対応方法 ・ヤングケアラーや一人親増加 	災害マップ活用		

【第2回地域懇談会風景】



3. 子ども懇談会

【開催テーマ】

	開催テーマ
子ども懇談会	みんながやさしく笑顔になる岬町を考えよう！

【開催日時等】

	開催日時		参加人数	会場
子ども懇談会	8月5日(土)	9:30~11:30	10名	岬町社会福祉協議会

【対象者】

○町内小学生(4~6年生)

【参加者の募集方法】

○チラシによる募集、各小学校からの周知



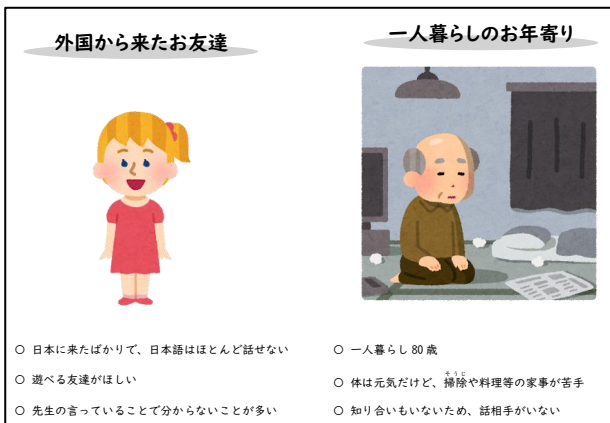
【子ども懇談会の内容】

子ども懇談会用のペルソナカードの方が、何に困っているかをイメージし、その方に対して、自分たちでもできること、大人とともにできることについて、グループワークを通して考えていただきました。

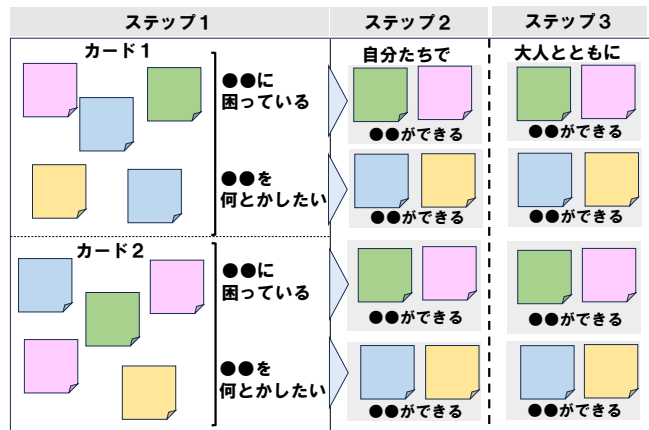
1. 様々な人(達)の困りごとや不安をイメージする

2. その人たちに自分たちができることを考える

3. 大人の人と協力したらできることを考える



子ども懇談会ペルソナカード



子ども懇談会まとめ例



【子ども懇談会各グループからの発表内容】

グループ1のペルソナカード

外国から来たお友達



一人暮らしのお年寄り



- 日本に来たばかりで、日本語はほとんど話せない
- 遊べる友達がほしい
- 先生の言っていることで分からないことが多い

- 一人暮らし 80 歳
- 体は元気だけど、掃除や料理等の家事が苦手
- 知り合いもいないため、話相手がない

	ペルソナカード	困りごと 不安なこと	自分たちが できること	大人と一緒になら できること
グループ 1	<p>外国から来たお友達</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 友達や先生とコミュニケーションをとることが難しい • 友達が作れない 	<ul style="list-style-type: none"> • 日本語と一緒に学ぶ • 理解できる話題で話す • ジェスチャーで誘って、一緒に遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> • 大人も一緒に日本語を学ぶ • 遠出をして仲良くなる
	<p>一人暮らしのお年寄り</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 一人で買い物にいかねばならない • 友達がいないので掃除もできない 	<ul style="list-style-type: none"> • 一緒に買い物する • 話相手になる • 定期的に掃除のお手伝いをする 	<ul style="list-style-type: none"> • 車で出かける • 料理を教える • 一緒に片付ける

グループ2のペルソナカード

親の帰りが遅いお友達



- お父さんもお母さんも共働き
- 夜ご飯はいつも一人で食べている
- 学校へ行くのに忘れ物が多い

足が不自由なお年寄り



- 夫（80歳）と2人暮らし 夫は家事ができない
- 子どもや孫は、町外で暮らしている
- 食材の買い物は、スーパーへ一人で出かける

	ペルソナカード	困りごと 不安なこと	自分たちが できること	大人と一緒になら できること
グループ 2	<p>親の帰りが遅いお友達</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人だと寂しいし、困ったときに助けを呼べない ・忘れ物が多いと自分が困る 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲良くする ・いじめられないように守る ・LINEで持ち物を教えてあげる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご飯を一緒に食べる会を作る ・みんなで楽しめる場所を作る ・両親それぞれ仕事と休みを別々にして一緒にいる時間を増やす
	<p>足が不自由なお年寄り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・階段があるところは通れないし、買い物も大変 ・遠くへお出かけできない 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちができることをお手伝いする ・困っている人を見かけたら代わりに助けを求める 	<ul style="list-style-type: none"> ・階段はスロープにする ・ご飯を代わりに作る ・道を平らにする ・スーパーと一緒にいく

【子ども懇談会風景】



4. 懇談会まとめ

重層的支援体制整備に向けて

一人暮らし高齢者

配偶者認知症の夫婦

両親共働きの家庭

一人親貧困家庭

外国人町民

ヤングケアラー

障がい者

様々な事情を抱えた方や家庭に対して必要なこと



つながりをもつ
災害時の支援
行事への勧誘



仲良くする
一緒にやる
代わりにやる



気にかける 接点をもつ

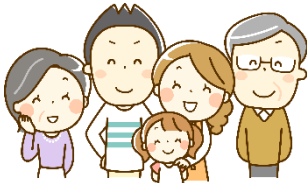


町ぐるみ 地域ぐるみで
支え合い

つながりを強化

支援活動に参加
見守り活動
自治区の活動強化

自分(地域)たちで



多様化する地域課題の解決に必要なこと

ハード整備
(道路、交通、施設等)
機関との調整
まち全体のイベント等

行政とともに



移動

生活環境

防災

子育て環境

高齢者

地域不活性

地域の課題解決に向けて